

持続可能な社会の発展に向けた取組

SDGs Project

本校では、地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力の育成を学習・教育目標の一つに掲げており、その達成に資する取組としてSDGsの実現に向けて取組んでいます。

By utilizing the UNESCO 17 SDGs, our institution aims to educate and provide the students with the skills and abilities to contribute to a sustainable society. Our students are encouraged to examine the issues from a global perspective while taking into consideration the people, social systems and environment which are affected.

1. サステナブルスクール事業（平成28年度～平成30年度）

この事業は、文部科学省及び（公財）ユネスコ・アジア文化センター主催の事業であり、教育を通じて持続可能な社会を構築するための実践的な取組みを行う学校を「サステナブルスクール」として選定し、その活動の発展に向けた支援を行うものです。福島高専は、本事業の採択を受け、有識者による講演会の開催や小中学生向けSDGs教材の制作を行いました。

2. 地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）

本校はサステナブルスクールとして活動を開始したことを契機に、その成果を地域へ還元するため、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）が公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）と共同で運営する「ESD活動支援センター」が設置する地域ESD活動推進拠点として登録しています。ESDの普及に向け、自治体と連携しながらSDGs教材を使用した出前授業などに取組んでいます。



3. 開発学・開発学入門

持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、ビジネスコミュニケーション学科3年生の専門科目で「開発学入門」を開講し、SDGsと開発問題について学習します。さらに同学科4年生の専門科目で「開発学Ⅰ・Ⅱ」を開講しており、経済成長、世界経済、消費者行動等の視点から開発に理解を深める授業を行っています。



4. 他学科への展開

当初ビジネスコミュニケーション学科を中心に開始されたSDGs、ESDの実現に向けた取組を全学的なものとするため、本科と専攻科の工学系学科のそれぞれの学生を対象に講演会を開催しました。

東北地方ESD活動支援センターの海藤節生氏を講師に招き、企業や自治体におけるSDGsの取組とSDGs 17の目標、169のターゲットについて学びました。

5. 国際会議の開催

●6th Regional Conference on Campus Sustainability (6RCCS)を開催

福島高専として初の国際会議となる6th Regional Conference on Campus Sustainability（6RCCS; 第6回キャンパスサステナビリティ地域大会）を、3月26日、27日の2日間に渡って開催しました。フィリピン、マレーシア、日本の高等教育機関を中心とした教授陣、スタッフ、学生ら89名が参加し、今大会のテーマである‘Renewable Energy and Campus Sustainability’を主題とした、様々な分野に関する、基調講演、ペーパープレゼンテーション、ポスタープレゼンテーション、さらにはワーキングと呼ばれるグループディスカッション等が行われました。

会の最後には、「福島宣言」として、高等教育機関として、キャンパスサステナビリティを実行し、SDGsの達成を目指し、かつ、サステナビリティに根ざした世界を構築するための人材を輩出することを誓い、成功裏に閉会しました。

●JSTS/ISTS 2019

Japan Seminar on Technology for Sustainability 2019 (JSTS2019:持続可能な社会構築への貢献のための科学技術に関する日本セミナー)とInternational Seminar on Technology for Sustainability 2019 (ISTS2019:持続可能な社会構築への貢献のための科学技術に関する国際セミナー)は、国立高等専門学校機構・長岡技科大・豊橋技科大との海外協定校が主催する学生主体のセミナーです。

本校は、2019年度より2021年度まで担当校として、セミナーの実施運営に携わります。今年度からの3年間、本セミナーでは、国連が掲げる2030アジェンダの核であるSDGs17をベースとし、少人数グループのワークショップや様々な交流活動をととして、倫理観と国際感覚を備えた人材育成を目指します。今年のJSTS2019は、7月8日から12日（7日は受付・歓迎ディナー、13日は移動日）を予定しており、本校所在地である福島県いわき市を拠点として、全国高専生、技科大生、そして海外の学生が集まり、SDGsの視点から地域課題、社会課題の解決に取り組みます。



活動予定

- JSTS2019 2019年7月8日～7月12日
※7日は受付・歓迎ディナー、13日は移動日
(福島県いわき市)
- ISTS2019 2019年10月8日～10月12日
(タイ バンコク タマサート大学)
- JSTS2020 福島開催、ISTS2020 台湾開催
- JSTS2021 福島開催、ISTS2021 開催地未定



● SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むものとされています。

また、ESD(Education for Sustainable Development)とは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を意味し、SDGsの実現に貢献する取組として注目されています。

